

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月28日

計画の名称	南九州地域における産業・物流活性化計画											
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	鹿児島県											
計画の目標	本地域（西諸県・北薩始良地域）においては、宮崎フリーウェイ工業団地、木材原木市場、鹿児島臨空団地等の物流拠点施設を有しており、周辺高速道路IC利用の陸上ルート、志布志港を利用する海上ルート等を活用し、海外への木材等の輸出並びに農畜産物の輸入等、1次産業を中心とした経済発展に大きく寄与している。このポテンシャルを生かすため、本地域における拠点施設と広域的な物流結節点（港湾・高速道路IC）を結ぶ道路整備等を実施することで産業・物流活動の支援を進め、物流の信頼性・効率性を高め、さらなる産業活性化を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	500	A	500	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26	H31	H34
1	・南九州地域（西諸県地域、北薩始良地域）の製造品出荷額等5,659億円から約5,907億円（H34）に増加（248億円（4.4%）の増加） 【共通目標】連携する南九州地域（西諸県地域、始良地域）における製造品出荷額の増加 （南九州地域内の産業品出荷額の増加率）=（評価時点の産業出荷額等 - 過去5年平均（H22～H26）の産業出荷額等） / （過去5年平均（H22～H26）の産業出荷額等）	5659億円	5758億円	5907億円
2	・北薩始良地域における製造品出荷額等5,109億円から約5,324億円（H34）に増加（215億円（4.2%）の増加） 北薩始良地域（出水市、伊佐市、霧島市、さつま町、湧水町）の製造品出荷額の増加 （北薩始良地域の産業品出荷額の増加率）=（評価時点の産業出荷額等 - 過去5年平均（H22～H26）の産業出荷額等） / （過去5年平均（H22～H26）の産業出荷額等）	5109億円	5195億円	5324億円

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-001	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	(国)447号 青木工 区 81-A-1	現道拡幅 L=1.3km	伊佐市						140	-		
	A11-002	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	(国)504号 西光寺 工区 81-A-2	バイパス L=1.0km	霧島市							360	-	
											小計							500		
											合計							500		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 鹿児島県土木部にて評価を実施 学識経験者の意見聴取	事後評価の実施時期 令和7年3月
	公表の方法 鹿児島県ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中、事業箇所に優先順位をつけ予算配分し道路整備を進めたことで工業団地等の製造拠点へのアクセス性が向上し、産業出荷額が増加するなど産業活性化に寄与したと考えられる。 【本事業完成で発現される効果】 ・A11-001：（国）447号 青木工区の整備により線形不良区間を解消したことで、えびのICと拠点施設（沖田工業団地、大口公設地方卸売市場、倉内工業団地）間のアクセス時間が約1分短縮され、物流効率化、産業活性化が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・未完了の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、道路整備を進め本地域の産業活性化を図る。 【未完了事業】：A11-001, A11-002 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	南九州地域（西諸県地域，北薩始良地域）の製造品出荷額等5,659億円から約5,907億円（H34）に増加（248億円（4.4%）の増加）		
	最終目標値	5907億円	宮崎県及び鹿児島県における製造出荷額は，各県における線形不良区間の解消を進めたことでインターチェンジ等と拠点施設間のアクセス向上が図られ，最終目標値に対して1448億円（25%）増加した。出典：経済産業省 経済構造実態調査（R5）
	最終実績値	7355億円	
2	北薩始良地域における製造品出荷額等5,109億円から約5,324億円（H34）に増加（215億円（4.2%）の増加）		
	最終目標値	5324億円	鹿児島県における製造出荷額は線形不良区間を解消したことでインターチェンジ等と拠点施設間のアクセス向上が図られ，最終目標値に対して1113億円（21%）増加した。出典：経済産業省 経済構造実態調査（R5）
	最終実績値	6437億円	